



学部同窓会報

兵庫教育大学
学校教育学部同窓会
令和5年2月発行

さあ、今年も最高の一年にしましょう!!!

学部同窓会 会長 竹安 雄一

様々な方達のご尽力のお陰で、今年も兵庫教育大学学部同窓会総会・研修会が大盛況のうちに幕を閉じました。毎年、同窓会が終わると、一年の始まりを感じることができるとともに、「今年も最高の一年にするぞ!」と、より気合いが入る契機となります。心の免疫力の高まりを強く感じています。今回も、会長挨拶では熱がこもりまくってしまいました。「同窓会とは、竹安会長からパワーをもらえる場」と言ってくれた参加者もいました。親愛なる世界の大学、兵庫教育大学への愛が溢れまくってしまうのです。

同窓会も進化しています。こんな時代だからこそ、会場参加とzoom参加のハイフレックス型での開催でした。交流会も盛り上がりました。オランダやアメリカ在住の同窓生とも繋がりました。

「Society 5.0」ならぬ「同窓会 5.0」を予感しました。今現在、同窓生は何人になったかご存知でしょうか?なんと、6800人になっております。いつかは仮想空間やアバターも使いながら、1000人ほどの会場で同窓会を開催するのが私の夢です。特に兵庫県におきましては、同窓生の活躍こそが、兵庫の教育の更なる発展に繋がるのです。そのためにも、同窓会の盛り上がりは必要不可欠なのです。予測不可能な未来だからこそ、目に見える形での心の繋がりはとても重要だと思っています。私の好きな言葉に、「早く行きたければ一人で行け。遠くへ行きたければみんなで行け。」というのがあります。みんなで素敵な社会をつくっていきましょう!話が止まらないので、続きは来年の同窓会で(笑)。

この文章を読んでくださっているすべての同窓生の益々のご活躍を祈念しております。引き続き、同窓会へのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



新年を迎えてのご挨拶 ー教員養成フラッグシップ大学としての本学の役割ー

理事・副学長 須田 康之

年を明け、1月5日に加治佐哲也学長から、兵庫教育大学は、新たなステージに立ったという年頭のご挨拶がございました。本学は、教員養成フラッグシップ大学の指定を受け、さらに、令和4年度国立大学改革・研究基盤強化推進補助金を「民間企業等との連携による自律した学習者を育てる教師の養成プラットフォームの構築」というテーマで受けることになりました。教員養成系大学としては、初めてのことであります。

いま、本学では、令和6年度からの学部のカリキュラムをめぐって、侃々諤々とした議論がなされています。要は、小学校や中学校において、学習者中心の授業を展開していくために、教員養成大学としてどのような授業科目を整備するかということにあります。教員養成フラッグシップ大学として、新しく22単位分の授業を新設することになりますが、既存の授業科目との調整が必要になります。学習者が主体的に学ぶことができる授業を展開するために、どのような事項を学んでおく必要があるかを考え、新しい授業科目を整備する役割を本学は担っています。まさに、「個別最適な学び」と「協働的な学び」をともに実現するためのカリキュラムを生み出そうとしているところです。

皆様には、ぜひ、ご期待いただきたいと思います。新年にあたり、皆様のご健勝をお祈り申し上げますと共に、引き続き、本学に対してのご支援をお願い申し上げます。



兵庫教育大学基金
HYOGO UNIVERSITY OF TEACHER EDUCATION FUND

あなたの力で教育は変わる。

高い実践的指導力を備えた教員の養成に取り組む、
兵庫教育大学へのご寄付をお願いします。

▼お申し込みは
ウェブサイトから



<https://www.hyogo-u.ac.jp/kikin>

「令和5年 学校教育学部同窓会総会・研修会」開催

令和5年1月7日（土）に、同窓会総会ならびに研修会を開催しました。会場参加とオンライン参加を選べるハイフレックス方式で開催し、ICT（いつも・ちょっと・トラブル）の常で、総会のときにオンラインの方と資料の画面共有ができないというピンチがありましたが、小田俊明庶務の的確なフォローで、無事に乗り切ることができました。また、今年は3年ぶりに託児所を開設しました。神戸市シルバー人材センターの「ぴよぴよ隊」の皆さんが丁寧に託児をしてくださいました。

会場：神戸ハーバーランドキャンパス 兵教ホール 託児所：講義室3

参加：会場40名、オンライン38名

来賓：加治佐哲也学長、須田康之理事・副学長（会場出席）

松本吉正副学長・事務局長、尾白泰次教育研究支援部長（オンライン出席）



◆総会◆

総会に先立って、竹安会長が挨拶を行い、続いて来賓の須田副学長様からお祝いの言葉と大学の現状についてお話をいただきました。

総会は、笠原恵さん（1期 本学教員）が司会進行を行いました。玉元陽大さん（21期）が議長として選出され、以下の議案について審議がなされ、すべて原案通り承認されました。

- 1号議案「令和4年事業報告」
- 2号議案「令和4年会計決算報告及び監査報告」
- 3号議案「同窓会役員」
- 4号議案「令和5年事業計画」
- 5号議案「令和5年会計予算」



◆研修会◆

【加治佐学長先生による講話】

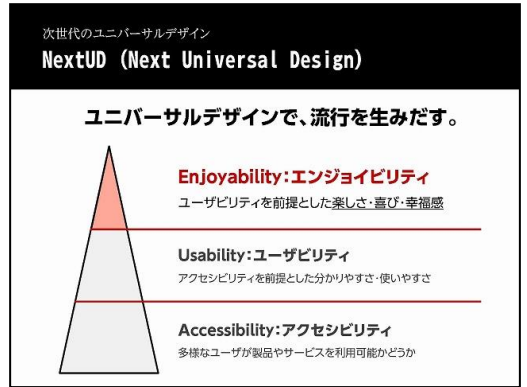
研修会の最初は、加治佐哲也学長先生に「これからの日本の教育と兵庫教育大学」と題して講話をいただきました。加治佐先生は中央教育審議会の委員もされており、これからの日本の教育や教員研修および目指すべき教師像の最新情報、および、それを実現するために兵庫教育大学が掲げる「新・教員養成スタンダード」について語っていただきました。



【小川修史先生による講演】

兵庫教育大学准教授 小川修史（ひさし）先生より、『「障害×ファッション」でパリコレに挑んだ4人の物語』と題してご講演をいただきました。小川先生のご専門は教育工学で、インクルーシブ教育の観点からICT活用の可能性についてご研究され、NHK などでも紹介されています。近年では、「ミライの制服プロジェクト」の代表として、誰でもストレスなく着ることができる次世代の制服を開発や、「障害の有無や性別に関わらず、誰もが心を躍らせるデザイン」をテーマに、機能的でかつオシャレなファッションを世界に発信され、2022 年秋には、パリコレでファッションショーを開催されました。

講演では主にこのパリコレを実現するにあたって集まった個性的な4人のことや、新しいユニバーサル教育や社会について熱く語っていただきました。コメントスクリーンを駆使して、会場やオンライン参加者とコミュニケーションを取りながらの講演は、まさに ICT の活用はこうあるべきという見本でした。1 時間半があつという間に過ぎた素晴らしく感動的な講演でした。最初書いた「ICT（いつも・ちょっと・トラブル）」も小川先生に教えていただきました。これでハイフレックスが随分気楽になりました。



【交流会】

講演会後に記念撮影を行い、その後、新たな試みとして、オンライン参加者も交えた「交流会」を開催しました。オランダから参加の藤本さんやアメリカのオレゴンから参加の木下さんなど、海外からも参加していただき、貴重なお話が聞けました。オンラインの素晴らしい可能性を発見できました。会場参加の人にも一言ずつお話をいただき、楽しい会になりました。



来年は四年に一度の記念大会です。きっと素晴らしい大会になると思います。ご期待ください。

令和5年 学部同窓会役員名簿

令和5年1月7日現在

会 長	竹安 雄一〔21期・学校教育〕					
主 計	時村由希子〔16期・生健(保体)〕					
監 査	藤原 裕司〔19期・社会〕			笠原 恵〔1期・自然(理科)〕		
庶 務	森田 啓之〔1期・生健(保体)〕		秋光 恵子〔1期・学校教育〕		鈴木 正敏〔2期・幼児教育〕	
	淀澤 勝治〔2期・幼児教育〕		小田 俊明〔13期・生健(保体)〕			
学年 幹事長	1期	山本 俊〔芸術(音楽)〕	16期	時村由希子〔生健(保体)〕	31期	中西 貴大〔自然(理科)〕
	2期	黒田 裕治〔社会〕	17期	中島 正登〔社会〕	32期	芝地 素直〔社会〕
	3期	平川 真也〔学校教育〕	18期	岩下真一郎〔社会〕	33期	小野村保乃佳〔学校教育〕
	4期	佐野 正信〔生健(保体)〕	19期	藤原 裕司〔社会〕	34期	三木 寛都〔自然〕
	5期	亀井 正裕〔言語(国語)〕	20期	津田 嘉秀〔社会〕	35期	石堂 友都〔社会〕
	6期	明樂 五月〔社会〕	21期	竹安 雄一〔学校教育〕	36期	中島 僚太〔社会〕
	7期	中井 由佳〔芸術(音楽)〕	22期	藤谷 亘〔生健(保体)〕	37期	上田 楓人〔学校心理〕
	8期	前川 郁〔自然(数学)〕	23期	田淵 幸司〔生健(保体)〕	38期	令和元年度入学生
	9期	小林 圭一〔自然(数学)〕	24期	増田 康児〔社会〕	39期	令和2年度入学生
	10期	大石 学〔学校教育〕	25期	筒井 幸介〔社会〕	40期	令和3年度入学生
	11期	尾崎 匡〔言語(国語)〕	26期	渡邊 紘也〔学校教育〕	41期	令和4年度入学生
	12期	吉井 克行〔社会〕	27期	嵩 直樹〔学校教育〕	42期	令和5年度入学生
	13期	日外 亮〔生健(保体)〕	28期	泊 翔介〔社会〕		
	14期	中村 太一〔社会〕	29期	谷川 陽祐〔学校教育〕		
	15期	有川 正真〔社会〕	30期	田中 慧〔生健(保体)〕		

＜顧 問＞ 学 長 加治佐 哲也
副学長 須田 康之 吉水 裕也 松本 吉正 尾田 博明

令和4年 事業報告

令和4年 会計決算報告

令和4年1月1日～令和4年12月31日

1. 会議等の開催

- 総会・研修会 R4.1.8(土)
会場:加東キャンパス
講演会「授業における効果的なICT活用」
講師 教授 森山 潤 氏
話題提供「令和5年度から変わる部活動!」
提供者 教授 森田 啓之 氏
指定質問者 中村(北門)宏美 氏

○定例役員会

- 第1回 R4.7.3(日)
- 第2回 R4.10.15(土)

○学部同窓会連携会議 R4.10.15(土)

2. 会員名簿情報の管理

個人情報変更届の受付、更新

3. 同窓会報の発行

4. 在学生の活動支援

- 卒業祝い(トートバッグ)を配付
- リーダーズセミナー補助
- 入学祝い(クリアファイル)配布
- 嬉望祭の運営経費補助

5. 大学・大学院同窓会との連携

- 「同窓会入会案内」の配布
- 大学基金への寄附

【収入の部】

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差額	摘要
繰越金	4,486,491	4,486,491	0	令和3年会計より繰越
会費収入	1,600,000	1,589,854	△10,146	送金手数料差引後の金額
利息	9	43	34	銀行利息
その他収入	0	877	877	名簿販売収入
合計	6,086,500	6,077,265	△9,235	

【支出の部】

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差額	摘要
総会・研修会経費	60,000	52,550	7,450	講師料, 準備経費等
総会案内郵送費	0	348,902	△348,902	案内はがき代等
会議費	200,000	74,723	125,277	役員会(7/3, 10/15)
卒業期同窓会開催支援費	100,000	50,000	50,000	5期同窓会開催補助
嬉望祭援助費	100,000	100,000	0	第41回嬉望祭
記念品費	200,000	178,200	21,800	卒業生・入学生記念品
課外活動支援費	100,000	50,000	50,000	リーダーズセミナー-講師料
就職・キャリア形成支援費	100,000	0	100,000	
兵庫教育大学基金寄付	200,000	200,000	0	
事務経費	10,000	1,640	8,360	振込手数料等
予備費	5,016,500	20,042	4,996,458	弔電等
合計	6,086,500	1,076,057	5,010,443	

収入 6,077,265 円, 支出 1,076,057 円 差額 5,001,208 円は令和5年会計に繰越します。
総会案内郵送費は、会員への周知のために役員会で決定して支出しています。

兵庫教育大学学校教育学部同窓会

〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1 修了生・卒業生連携センター内
電 話 0795-44-2406, 2375 FAX 0795-44-2376
E-mail office-dosokai@ml.hyogo-u.ac.jp